

3 未来を担う人づくりをみんなで～次世代の育成と市民文化の振興～

1.子育て環境の充実

親が子育ての喜びや楽しさを感じ、地域全体で子どもの成長を温かく見守る社会を築いていくことを子育て支援の基軸に据え、親子の交流の場づくりや、保育所の待機児童の解消に向けた取組などを通じ、関係機関とも十分に連携を図る中で、ハード・ソフトの両面から子育て環境の充実を図ります。

(1)親子つどいの広場整備事業

(201, 893千円)

南部地域において、親子つどいの広場の用地取得及び実施設計等を行います。



(4)あったか家族推進事業

(1, 000千円)

子育てを支援する環境づくりを推進するため、すこやか子育て交流館での啓発イベントや街頭キャンペーンを行い、家族のふれあいや絆、父親の育児参加の大切さなどを啓発します。



(2)すこやか子育て交流館管理運営等事業

(85, 095千円)

すこやか子育て交流館の管理運営及び子育て家庭等を支援するための各種講座や育児相談等を行います。

(拡)りぼんかんフェスティバルやお父さん子育て応援事業などの実施

(5)児童福祉施設整備費等補助金

(保育所) (107, 633千円)

待機児童の解消を積極的に推進するため、定員増を図る保育所の施設整備に対し助成します。

保育所の増改築 1箇所

(3)子育て支援団体活動支援事業

(6, 350千円)

地域で子育て支援を行う団体等を支援するため、備品購入費を助成します。



(6)私立保育所補助金

(351, 072千円)

私立保育所の職員の資質向上と保育内容の充実を図るため、研修費や運営費等を助成します。

(拡)療育支援児保育補助金の新設



3 未来を担う人づくりをみんなで～次世代の育成と市民文化の振興～

(7) 認可外保育施設補助金

(61,735千円)

認可外保育施設に入所している児童の福祉の増進と健全な育成を図るため、冷暖房費や運営費等を助成します。

(拡) 児童健康診断補助金の新設

(8) 私立保育所運営費

(8,298,419千円)

保育所の定員増により入所枠を拡大するとともに、保育所に入所する児童に係る運営費を支給します。

(拡) 当初定員8,143人(対前年度 920人増)

(9) 特別保育事業

(678,997千円)

乳幼児の健康の保持と精神の成長・発育の促進を図るため、延長保育、一時預かり等を実施します。



(10) 放課後児童健全育成事業

(489,035千円)

昼間保護者のいない小学校低学年児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供し、放課後における児童の健全育成を図ります。

(拡) 児童クラブの開設 9箇所

運営時間の1時間延長(土曜日、夏休み等)



(11) 多子世帯保育料軽減事業

(保育所関係) (23,293千円)(再掲)

保育所に入所する第3子以降の子どもを有する世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図ります。

(12) 子ども手当

(13,214,934千円)

次代を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもを対象に、子ども手当を支給します。

(拡) 3歳未満の子ども一人につき

月額 1万3千円→2万円

(13) 子どもすこやか安心ねっと事業

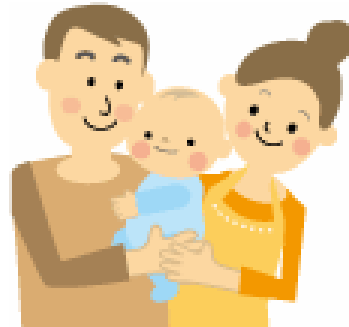
(18,162千円)

子どもの発達段階に応じた支援体制を整備し、子育てに関する保護者の不安の軽減を図り、子どもの健やかな発達を促します。

(拡) 乳幼児相談員の増員(保健師1人、心理相談員1人)

22年度 3人 → 23年度 5人

発達状況などの経過観察を必要とする3歳以上の幼児を対象としたわくわく親子教室の新設



(14) 児童福祉施設整備費等補助金

(母子生活支援施設) (106,960千円)

入所者の安心・安全を確保するため、児童福祉施設(母子生活支援施設)の整備を行う社会福祉法人に対し、経費の一部を助成します。

(拡) 施設の耐震化に伴う改築 1箇所

3 未来を担う人づくりをみんなで～次世代の育成と市民文化の振興～

2.次世代の育成

良好な教育環境を確保するとともに、教育振興基本計画に基づく各種施策を通じて、本市に誇りを持ち、これからの時代に必要な生きる力を養い、心身ともにたくましく、生涯を通じて自らを磨き学び続ける人材を社会全体で育成します。

(1) 普通教室クーラー設置事業

(712,675千円)

学校の普通教室にクーラーを設置し、良好な教育環境を確保します。22年度の予算計上分を含めて、23年度は31校の整備を行います。

23年度新規予算計上分

小学校8校、中学校4校、高等学校1校



降灰のため窓を開め切って授業を行う市立中学校

(2) 特別支援教育体制推進事業

(97,798千円)

(3) 幼稚園・特別支援学級等サポーター事業

(38,495千円)

教育上特別な配慮が必要な園児及び児童生徒に対する支援の充実を図るために、特別支援学級等の学級担任等を補助する支援員及びサポーターを配置します。

(4) 学校支援ボランティア事業

(41,404千円)

学校の教育活動に地域の教育力を活用するため、地域住民の学校支援ボランティア活動への参加を促進し、地域住民と児童生徒との交流を通じて、地域の絆を回復させるとともに、教職員が児童生徒と向き合う時間の拡充を図ります。

23年度は対象を42校から54校に拡大します。

(5) 新・郷中教育推進事業

(18,876千円)

小学4年生～6年生を対象として、放課後に余裕教室を活用し、学習や交流活動に取り組みます。

23年度 1校区新設

(6) 音楽等文化活動に対する助成

(7,000千円)

県代表として、九州大会・全国大会に出場する市立小・中・高等学校の吹奏楽や合唱に加え、新たに書道や美術等の団体に対して、必要経費の一部を助成します。

(7) 保健体育等推進助成事業

(27,782千円)

県代表として、全国大会等に出場する市内の高等学校の運動部活動等の団体に対する助成を拡充します。



(8) 地域公民館整備事業

(123,936千円)

(9) 新喜入公民館整備事業

(269,677千円)

中央公民館及び谷山市民会館の改修に向けて、実施設計を行うとともに、鴨池公民館への太陽光発電システム設置等や、その他の館の修繕等を行います。新喜入公民館は、22年度に引き続き、新築本体工事等を行います。

(10) 体育施設等整備事業

(204,486千円)

市民一人ひとりが生涯を通じて、日常的にいつでもどこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、体育施設等の整備、充実を図ります。桜島溶岩グラウンド地盤改良測量設計ほか

(11) スポーツ・レクリエーション意識調査事業

(2,274千円)

スポーツ・レクリエーションに関する市民の意識を調査し、今後の施策の参考とします。

3 未来を担う人づくりをみんなで～次世代の育成と市民文化の振興～

3.市民文化の振興

伝統芸能や音楽、美術など、本市の優れた文化に着目し、個性あふれる鹿児島らしい文化創造に向けて取り組みます。

(1)地域の魅力づくりプラン(文化関連)

策定経費

(7,216千円)

文化芸術や伝統芸能などを活用した地域の魅力づくりのためのプラン策定に取り組みます。



(2)大桜島展開催事業

(22,201千円)

九州新幹線全線開業を記念して、桜島をテーマにした大桜島展を開催します。

23年度「絵画展」 24年度「公募展」



黒田清輝作「桜島爆発図(噴煙)」

(3)異人館ルネッサンス事業

(42,119千円)

国指定の重要文化財である異人館(旧鹿児島紡績所技師館)について、館内の展示整備を行います。

23年10月 リニューアルオープン(予定)



(4)玉里邸庭園整備事業

(17,571千円)

これまで整備を進めてきた国の名勝庭園である玉里邸庭園を23年4月から広く一般に公開するとともに、引き続き庭園の整備や茶室改修の実施設計等を行います。

(5)近代化産業遺産保存事業

(12,402千円)

(6)近代化産業遺産保存管理計画等策定事業

(16,440千円)

世界文化遺産登録を目指して、「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産等に係る調査を実施するとともに、旧集成館など磯地区の産業遺産について、保存管理計画等の策定に向けた取組を進めます。